



警告 加熱中は火元を離れないでください。火災の原因になります。



■使用上の注意



注意

- 極端な空炊きはしないでください。
- 調理中や調理の直後は本体が熱くなっています。火災ややけどの危険がありますので十分注意してください。特にお子様の手にふれないようにしてください。
- 揚げ物調理をする場合は、油の過熱により、火災のおそれがあります。調理中は火元を離れないでください。
- 油の付着したリップは、大変滑りやすくなるため、リフターの磁石を吸着させる場合は、十分注意してください。
- 取っ手は熱くなり、やけどの危険がありますので、ミトンやふきんを使用してください。
- ポットは加熱器具の中央部にのせ、安定させて使用してください。
- 取っ手のガタツキや取っ手の破損に対し、改造や応急処置の手当てをして使用することは危険ですのでおやめください。
- 吹きこぼれ、煮こぼれに注意してください。加熱器具の故障の原因となります。
- ふちまで油や水等を満たした状態で使用しないでください。油や熱湯の吹き出しによりやけどや調理器具の故障の原因となります。
- 調理後は内容物を保存しないでください。サビの発生原因となります。
- 炒め調理をする場合、ポットを加熱しすぎないでください。変色や油を入れた時に引火する原因になります。
- 電子レンジでは使用しないでください。火災の原因となります。
- ストープの上では使用しないでください。空炊きや転倒による火災、異常加熱によるやけどのおそれがあります。
- 高い所から落とす等、強い衝撃を与えないでください。破損や変形の原因となります。

電磁調理器で使用する際の注意

- 空炊きをしないでください。
- 調理前に電磁調理器の調理面(トッププレート)とポットが密着しているか確認してください。
- ポットの底に付いた水滴、異物や調理カス、汚れ等はきれいに拭き取ってください。
- ポットは電磁調理器の中央にのせ、安定させて使用してください。
- 電磁調理器で加熱中にブーンといった音が生じる場合がありますが、電磁調理器とポットの振動の波動が共鳴するために生じるものですのでポットの異常ではありません。
- 電磁調理器付属の油温調節機能は油の温度が設定どおりにならない場合がありますので、使用しないでください。
- お使いの電磁調理器の取扱説明書をよくお読みになって正しく使用してください。
- 使用できない機種もあります。

ガスコンロで使用する際の注意

- 炎はポットの底からはみ出さないように使用してください。炎により取っ手が熱くなり、やけどのおそれがあります。
- 隣接するコンロの炎が取っ手にあたらないよう向きを調節してください。
- お使いのガスコンロの取扱説明書をよくお読みになって正しく使用してください。



注意

使用する前に

- 品質には万全を期していますが、万一不具合があった場合には、使用をしないで購入店かお問い合わせ先までご連絡ください。
- 取っ手の取り付け、リフターに破損やガタツキ等がないか安全を確認してから使用してください。
- 最初に使用する時は食器用洗剤を付けて、スポンジ等で十分に洗い、すすいでください。

お手入れ・保管について

- 使用後は食器用洗剤を付けてスポンジ等で洗い、早めに水分を拭き取って乾燥させてから保管してください。
- 焦げつきを落とす場合はナイフ等の鋭利な刃物でこすったりして表面を傷つけないでください。食器用洗剤を溶かしたお湯に浸した後、スチールタワシ等でこすり落とすか、ステンレス用のクリーム洗剤をお使いください。また焦げつきがひどい場合は、酢を2、3滴入れたお湯を鍋に入れて沸騰させ、冷ましてからスチールタワシ等でこするとよく落ちます。
- 塩分や酸等を含んだ汚れを付着させたままや、異種金属製品と接触させたままの放置、湿気の多い場所での保管はしないでください。サビの発生原因となります。
- 万一サビが発生した場合は、ステンレス用のクリーム洗剤をスポンジ・タワシ等につけてこすり落とし、よくすすいでください。
- 手の届きにくい場所には保管しないでください。取り出す際に落下する危険があります。

数回のご使用で熱により変色することがありますが、使用には影響ありません。

- ご使用していただくうちに、本体の表面が熱によって茶色に変色したり、水道水の成分によってはカルシウムやマグネシウム等の付着により鍋の内面に白い斑点が付いたり、虹色に変色する場合がありますが、使用に影響はありません。
- 取っ手がはずれないようしっかりと溶接しておりますので、本体と金具に溶接痕や溶接焼けが残っておりますが、使用上問題はありませのでご了承ください。